

KBL
Your Best Partner

KRフォーク

取扱説明書

K B L



QUALITY REPLACEMENT PARTS
JUST EQUAL TO GENUINE

安全にご使用いただくために

KBL
Your Best Partner

この度は当社製品をご購入頂きましてありがとうございます。御座います。

本製品はシンプルな2点止め簡易フォークで、お客様保有の油圧ショベルに簡単に装着でき、流木処理/農業資材の整理/木造家屋の解体及びこれらの積込作業を簡単に行えます。ご使用前に、この取扱い説明書をよく読んで、正しく安全に御使用頂けますよう宜しくお願いします。

この取扱説明書は、フロントアタッチメントの基本的な知識と点検整備を正しく行うために作成したものです。必ず、本書と油圧ショベルの取扱説明書を熟読し、よく理解の上「安全作業・正しい保守点検」をお願い致します。誤った運転操作、不十分な保守点検は、機械の能力を十分に発揮できないばかりではなく、時に人命に関わる危険さえ生じる恐れがあります。

このフロントアタッチメントKRフォークは、国内で使用することを目的として設計、製造されております。海外で使用する場合は、保障対象外となります。

取扱説明書は、いつでも読めるように保管場所を決めて、常に身近に備え付けて大切に扱って下さい。

取扱説明書を紛失または破損した場合は、速やかに取扱店または弊社にご用命下さい。

このフロントアタッチメントKRフォークを譲渡される時は、次の所有者に取扱説明書も必ずKRフォークに添付して譲渡して下さい。

取扱説明書では、全ての危険事項を完全に把握することは不可能です。本書記載事項以外についても「安全作業・正しい保守点検」に対する配慮は必ず、全てのお客様の責任で行って下さい。

商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承下さい。

ご不明の点やお気づきの点がありましたら、取扱店または弊社にお問合せ下さい。

安全上の重要事項

KBL
Your Best Partner

 KRフォークの脱着時は・・・

- 水平堅土上で作業を行って下さい。
- 周囲の安全に注意して作業を行って下さい。
- 適切な工具を使用して下さい。
- 止むを得ずKRフォークの下で作業を行う場合、または立ってかけて作業をする場合は、必ず安全確認をしてサポート(ブロック)を確実に装着して下さい。
- KRフォークの連結部周辺等の隙間に入ったり、手や腕を入れないで下さい。挟まれて重大な事故につながる恐れがあります。

作業前に・・・

- KRフォークの部品が正しい位置に装着されているか確認して下さい。
- 周囲の安全に注意をして、油圧ショベルの各レバーをゆっくり操作して、操作パターンの確認をして下さい。
- 給脂を行って下さい。
- 各ボルトの増し締めを行って下さい。
- KRフォークの外観(各接合部・溶接部等)の確認をして下さい。損傷がある場合は、使用を中止して速やかに取扱店または弊社に連絡して下さい。放置するとKRフォークが破損または事故につながる恐れがあります。

KRフォーク作業中は・・・

- クローラーを作業方向に向けて、走行モーターを後方にして、水平堅土上で作業を行って下さい。
- 注意事項を守り、解体作業・積込作業を行って下さい。
- 解体ガラや盛土の上での作業は、機械の重量、振動で足場が崩れて危険です。
- 送電線や配電線に接近すると感電につながる恐れがあります。作業や走行の際には、KRフォークと送電線や配電線との間に安全な距離を保つようにして下さい。万一、電線に接触した場合は、「絶対に触るな」と警告して下さい。油圧ショベルから脱出する場合は、ステップ等に触れないで一気に飛び降りて下さい。
- KRフォークがキャブ及び本体と干渉することがあります。必ず注意して下さい。
- クレーン作業等、用途以外の作業は絶対に行わないで下さい。KRフォークが破損します。また、重大な人身事故につながる恐れがあります。
- KRフォークに人を乗せないで下さい。転落等の重大な人身事故につながる恐れがあります。
- KRフォークの下または周囲に人を入れないで下さい。重大な人身事故につながる恐れがあります。
- 陸橋・トンネルなどの高さが制限されている場所、または周囲に構造物がある場所で作業するときは、KRフォークを当てないように十分に注意して下さい。
- KRフォークの急降下や急停止、急操作を行うと安定を失い、転倒する恐れがあります。
- 崖下での作業は、土砂の崩壊や落石の恐れがあるので行わないで下さい。
- 積込作業時にKRフォークを人の頭上やダンプトラックの乗車席上を通過させないで下さい。
- KRフォークは、用途以外に衝撃を加えると破損または、事故につながる原因となりますので衝撃を加えないで下さい。

その他・・・

- 作業に応じてヘルメット、保護メガネ、安全靴、厚手の手袋、耳カバー等の保護具を着用して下さい。
- だぶだぶの衣服や装身具を着用して作業を行うと、機械や操作レバーに引っ掛けて、機械が不意に作動したり、人身事故につながる恐れがあります。
- KRフォークの改造は、破損や事故につながる恐れがあるため絶対に行わないで下さい。
- 取り外したKRフォークは、倒れやすく危険です。安定した状態で保管して下さい。
- 油圧の設定は、油圧ショベルの仕様に従って使用して下さい。
- KRフォークは、油圧ショベルとのマッチングが不可欠ですので、KRフォークと油圧ショベルの取扱説明書をよく読み、理解したうえで注意事項を守ってご使用下さい。

使用上の注意



下記の作業を行うとKRフォーク本体及び各ピン等が損傷します。
また、油圧ショベルのアーム、シリンダー等が損傷します。



必要以上のから打ちをする



物をつかんでいる時に必要以上の加圧をする



油圧ショベルの旋回力を利用して打撃破壊作業



かみ碎き作業



KRフォークのツメを利用して、こじる作業・押しつけての破壊作業



KRフォークのツメの片側だけでつかむ、片づかみ作業



ストッパーが効いている状態でさらに加圧する



目視してアームがしなっている時は、それ以上荷重をかけない。
また、必ずアームの点検を行う



KRフォークを地面に押し付けて、油圧ショベルの方向転換



KRフォークの旋回力を利用して解体する作業



破壊物等をつかんで前後に走行しての解体作業




作業中にKRフォークの上フォークまたは下フォークの片側だけに
負荷をかける作業

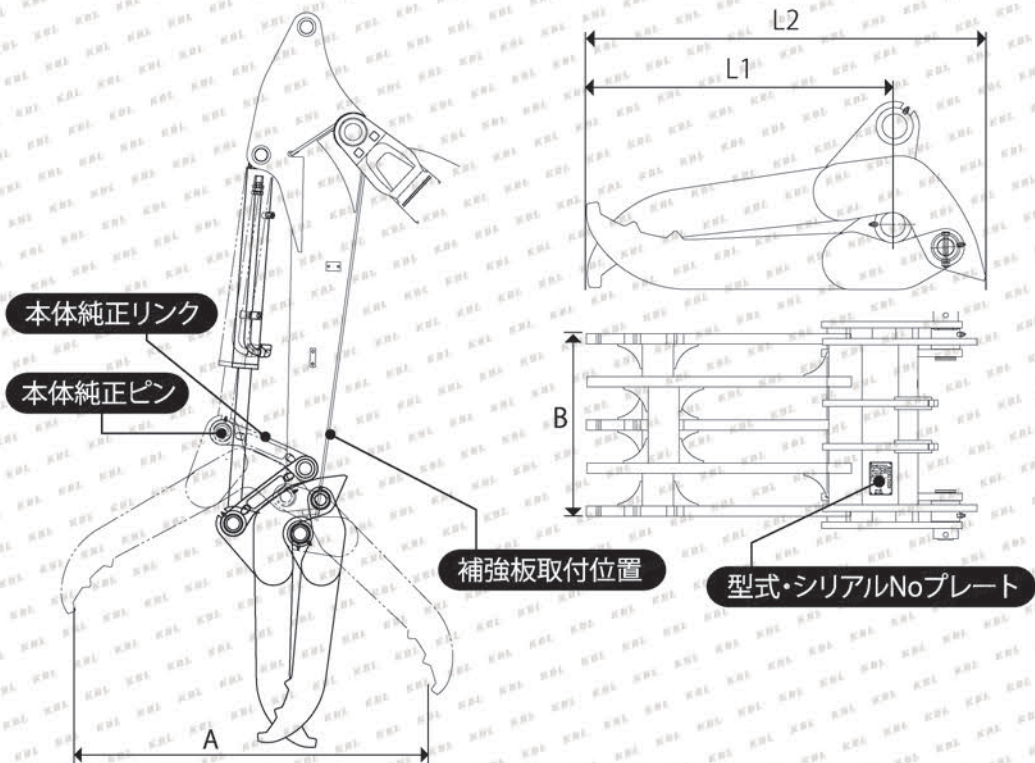


KRフォークのツメを利用して掘削する作業



落下力を利用しての杭打ち作業や堅土やコンクリートの壊し作業

 本書は、あらゆる環境下における運転・点検・整備の全ての危険を予知したものではありません。従って、本書記載事項以外につきましてもKRフォークの取扱につきましても、お客様の責任のもとに、常に安全に対する必要な配慮を行って下さい。



型式	機械重量 [t]	開口A [mm]	爪中B [mm]	爪長L1 [mm]	爪長L2 [mm]	重量 [kg]
KR-10	0.8~10	625	220	395	497	29
KR-15	1.5~1.8	739	250	465	558	37
KR-20	2.0~2.7	1035	370	577	736	70
KR-30	3.0~3.8	1220	406	678	865	120
KR-40	4.0~5.5	1290	445	747	972	160
KR-60	6.0~8.0	1591	550	872	1173	260
KR-120	11.0~14.0	1910	656	1145	1481	440
KR-200	20.0					

※本体アーム保護のため、補強板を取り付けてご使用下さい。(KR-20~KR-200)
付属の補強板は、アーム内側(B/Kシリンダ対面)に必ず取り付けて下さい。

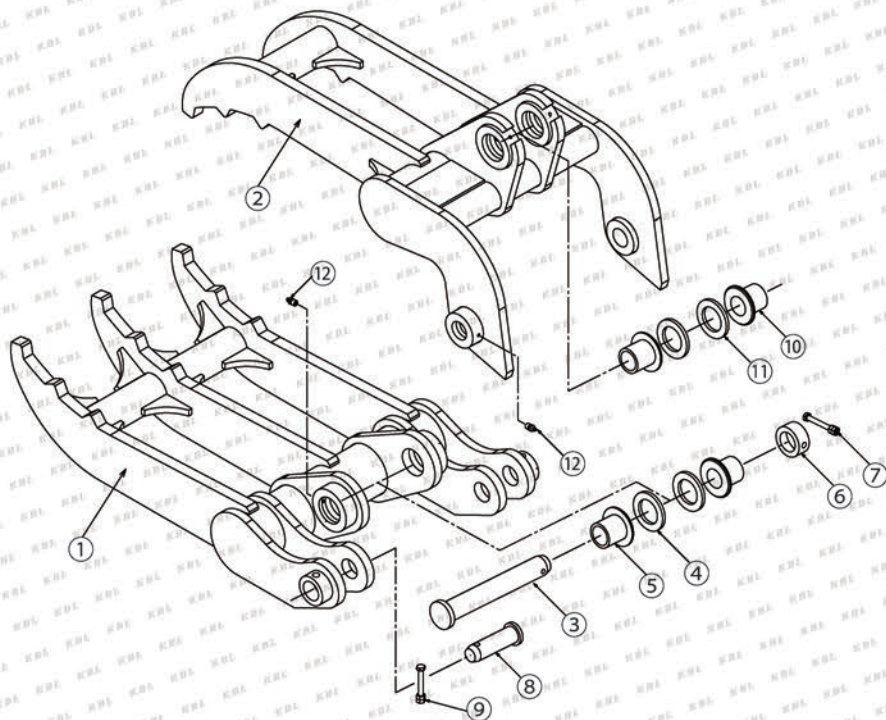
ハードな作業には、2面及び3面補強を推奨します。

※開閉ストロークエンドで必要以上の衝撃を与えないで下さい。

フォーク及びアーム本体が破損する恐れがあります

※本仕様は、予告なく変更する場合があります。

部品表



No.	Parts No	Parts Name	Qty	KR 10	KR 15	KR 20	KR 30	KR 40	KR 60	KR 120	KR 200
①	KRP-001	フレームA (3本爪)	1	○	○	○	○	○	○	○	○
②	KRP-002	フレームB (2本爪)	1	○	○	○	○	○	○	○	○
③	KRP-003	アーム先端ピン	1	●	●	●	●	●	●	●	●
④	KRP-004	シムA	NA	●	●	●	●	●	●	●	●
⑤	KRP-005	ツバ付ブッシュA	2	●	●	●	●	●	●	●	●
⑥	KRP-006	カラー	1	●	●	●	●	●	●	●	●
⑦	KRP-007	ロックボルト×1、ナット×2 A	1	○	○	○	○	○	○	○	○
⑧	KRP-008	連結ピン	2	○	○	○	○	○	○	○	○
⑨	KRP-009	ロックボルト×1、ナット×2 B	2	○	○	○	○	○	○	○	○
⑩	KRP-010	ツバ付ブッシュB	2	●	●	●	●	●	●	●	●
⑪	KRP-011	シムB	NA	○	○	○	○	○	○	○	○
⑫	KRP-012	グリスニップル	4	○	○	○	○	○	○	○	○

○=共通部品 ●=機種確認部品

※部品御注文の際、取付機種・KRフォーク製造番号により部品が異なる場合がございます。必ずKRフォークの型式・製造番号、取付機種をお知らせ下さい。